

足趾の遠位趾節間関節（DIP 関節）の癒合状況に関する多施設共同研究

研究の概要

足の指には通常3つの骨とそれぞれの間に関節（趾節間関節）が二つ（遠位と近位）が存在します。しかし、足趾の遠位趾節間関節（DIP 関節）はもともと癒合している人がいることが報告されています。もともと癒合している骨が骨折した場合、骨折なのか、本来あった関節なのか診断が難しく、手術が必要かどうかの判断に支障をきたすことがあります。DIP 関節が癒合している人が多くを占めるようになると、標準的な治療の変化につながります。将来的に、治療の提案、管理の仕方の向上につながる可能性があります。

対象者：1920 年から 2009 年生まれで 2009 年から 2024 年に足趾エックス線を撮影された者

対象期間

本研究の実施許可日～2025 年 9 月 30 日

研究方法

通常の診療で撮影されたエックス線画像を読影し、足趾 DIP 関節の癒合状況を確認します。患者さんに新たな負担はありません。研究結果は、学会、専門雑誌などでの発表に使用される場合がありますが、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

新潟県長岡市千秋 2-297-1

長岡赤十字病院

リウマチ科 根津貴広

0258-28-3600（代表）